

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



スカウト みやぎ

No.20

発行
日本ボーイスカウト宮城県連盟
発行日
平成21年 1月30日

協働・実践にむけて

ボーイスカウト宮城県連盟 連盟長 村井 嘉浩

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新たな抱負や願いを胸に新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、3年間にわたる世界スカウト運動創始100周年事業を総括する各種事業を実施するとともに、多数の指導者の参加による野外教育研修会の開催、さらにはホームページの開設準備を進めるなど、スカウト運動の推進と活性化に積極的に取り組み、大きな成果を挙げることが出来ました。皆様のご活躍に心から感謝を申し上げます。

また、昨年9月に、新潟中越地震での救援活動の実体験を踏まえて、災害支援活動規定を策定し、大規模災害発生時の支援派遣が迅速・円滑に実行できる体制を確立したことは、いつなん時、いかなる場所で、いかなる事態が起きた場合でも対処ができるよう、常に準備を怠ることがないようにという「そなえよつねに」の精神に通じ、当連盟の社会貢献活動としても大きな意義をもつものと存じます。

さて、生涯学習社会が一層浸透した今日、青少年の健全育成に寄与する多様な学習機会がNPO等の様々な団体によって提供されております。このような社会情勢の中で、スカウト運動を維持・発展させるためには、スカウト運動の基本原則に基づいた活動をより充実させるとともに、社会全体で青少年の健やかな成長を支えるという趣旨に立ち、多様な団体や個人と相互に連携・協力し、垣根を越えたパートナーシップに基づく協働を実践していくことが重要であると考えております。

県連盟の基本方針は、「より良いスカウティングをより多くの青少年に」であります。今年は様々な機会を通して、子どもや保護者など多くの方々にスカウト運動の理念や魅力を知っていただき、より多くの方々にご加盟いただけますことを期待しております。

昨年、2015年の「第23回世界スカウトジャンボリー」の開催国が日本に決定しました。県内の青少年が多数参加し、切磋琢磨できる絶好の機会であります。指導者の皆様には、青少年がジャンボリーなどの大会への参加という目標を持って意欲的に活動していけるよう力強く導いていただけますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の御健康と御多幸を心からお祈り申し上げ、挨拶といたします。



新春餅つき（白石第1団）



祈祷 中田神社どんと祭にて（仙台第28団）

年頭の挨拶

ボーイスカウト宮城県連盟 理事長 千田 好男



皆様には、夢と希望に満ちた新年をお迎えになったこと、お喜び申し上げます。
一昨年、世界スカウト運動が100周年を迎えて当県連が3年間にわたり取り組んだ記念事業も皆様のご参加・ご協力により無事終了し、5月11日仙台

市民会館でのクロージングセレモニーと『事業報告書』の発行をもって、終了いたしました。

100周年を契機に、団や隊の活性化と、より多くの青少年を迎え入れることによって、これからの100周年に向け、スカウト運動の発展を図っていくことを誓ったところであります。

6月14日に、岩手・宮城内陸地震が発生し、幸いスカウト関係者には、特に被害なしとの報告に安堵したところであります。全国の仲間から励ましの言葉や義援金が送られ、また、県北地区の清水第1団のスカウト達が、大きな被害を受けた栗原市花山・栗駒地区の仮説住宅を訪問し、「地震に負けないでガンバッテ」のメッセージを添えた風鈴を贈ったことが報じられ、ボーイスカウト関係者ともども、被災地の方々の一日も早い復興を願っております。

7月末に、第10回日本アグナリー（国際障害者スカウトキャンプ大会）が、神戸市の「しあわせの村」で開催されました。県内から仙台第12団を中心に、奉仕リーダーとスカウト10名が参加しております。これまで

の大会と違いスカウト関係者以外の参加が多く、スカウト活動への理解が広まったと聞いております。

今年は、7月25日から29日まで青森県下北半島で第3回北海道・東北ブロックキャンポリーが開催されます。「自分の未来を見つける旅へ・目指せSHIMOKITA!」をテーマに日頃培ったスカウト技能を発揮し、下北の大自然や文化、地域の人々とのふれあい、友情を深め、新たな体験をしてみようではありませんか。

また、第7回ベンチャースカウト大会が、8月の1ヶ月を「ベンチャー月間」として、その間の5泊6日から、6泊7日の期間で、全国6ブロックに活動基地を設け、全国規模で開催されます。

今大会は、ベンチャースカウト自らが、全国各地で展開する活動基地の中から、多種多様な活動内容、場所、期間に応じて選択でき、インターネットによる申し込みとなります。

青春と真ん中のベンチャースカウト諸君、人生の糧を得る行脚の旅に出発しよう。

依然として青少年を取り巻く環境は厳しい状況にあり、憂慮に絶えないところであります。

次第を担う子ども達を一人でも多く、スカウト運動に参加させることに、スカウト関係者一丸となり取り組んでいこうではありませんか。今後とも、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆様にとりまして宮城県のスカウト運動拡張のため本年もすばらしい年となりますよう祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

新春 弥 栄

県連盟役職員

連盟長	村井 嘉浩	学識経験理事	横澤 繁	名誉会議議員	安達 清守
副連盟長	郷家 照夫	〃	大丸 正則	〃	山田 清八
理事長	千田 好男	〃	村上 佳司	〃	鯉谷 正幸
副理事長	芳賀 文蔵	〃（事務局長）	山田 洋司	〃	大場 卓
地区代表理事	南館 重義	監事	佐藤 善久	相談役	結城 時男
〃	井藤 晃	〃	野中 孝三	先達	佐々木重兵衛
〃	松原 健二	コミッショナー	千葉 義博	長老	横谷 善作
〃	菊池 康博	トレーニングチームディレクター	佐藤 友秀	顧問	愛知 治郎
〃	片寄 稔	名誉会議議員	堀江 一男	〃	中野 正志
学識経験理事	菅野 五郎	〃	大久保 孝	〃	西村 明宏
〃	新沼 壽一	〃	中鉢 宏	〃	斎藤 正美
〃	堀越 祐寿	〃	色川 新治	事務局	大山由美子
〃	渡辺 七郎	〃	布施 孝之		
〃	大久保晃男	〃	日下 清		

各種委員会紹介

アダルトリソース委員会

アダルトリソース委員 寺本 栄子

当委員会の誇れるところは、出席率がほぼ100%であることです。

これも委員長の計らい、皆の予定を聞いて一番都合の良い日を設定しているからです。

つい先日も桜井氏の講演に向けて、当日の弁当の試食会を（三種類）しました。これがなかなか楽しくて、話も弾んで、当日の段取りや準備物いろんなことがスムーズに進みました。

やっぱりチームワークがとても大事だと思っています。

委員会のキーワードは、

1. 時間は作るもの、合わせるもの。
2. 約束は、必ず守るもの。
3. 良い悪いは、はっきり伝えるもの。
4. お互い、助け合い協力しあうもの。
5. 会議は、みんなで楽しくするもの。

こんな感じで、和気藹々とやっています。
ちょっと付け加えれば、我が委員会の女性は口はきついが心はとても優しいんです。



「リーダー養成と野外教育のための研修会」開催

アダルトリソース委員会委員長 村上 佳司



11月30日（日）アダルトリソース委員会主催企画の行事として、「NPO国際自然大学」の桜井義維英氏を講師に招き「リーダー養成と野外教育のための研修会」を開催。

当日は、宮城県5地区の指導者及び団関係者約80名の参加で、塩竈公民館で開催しました。

午前中は、講師の紹介に続き、「指導者としてのあるべき姿とは。及びボーイスカウトはなぜ野外活動をするのか。」をテーマに講演を聞きました。

昼食（豪華弁当：大変好評で委員会としても大満足です）を挟み、午後は各隊別に分科会を開き、「野外活動のあり方」をテーマにパネルディスカッションをしました。

討論の参加者には時間が少なすぎたようでした。パネラーは当日突然の指名で、とまどいが有ったかと思います。

今回の講演内容を参考にして、各団の発展にお役に立てて頂きたいと思います。



石巻地区創立40周年

記念行事・式典開催される

10月19日(日)ボーイスカウト石巻地区創立40周年を祝い記念集会行事および記念式典が開催され、今後の地区結束と発展を誓い楽しい1日を過ごしました。発足当時3個団だった石巻地区は最多7個団を数えましたが少子化や子供たちの活動の多様化によって現在は4個団が登録されています。

石巻第6団 団委員(広報) 蟻坂 隆



創設40周年記念集会行事(石巻遊楽館)

スカウトリーダー 保護者120名参加

記念集会は石巻市河南「遊楽館」を会場に石巻1団・2団・6団、涌谷1団スカウトが参加し開催されました。各団優秀スカウト表彰など開会行事の後、各団各隊はスタンツ(特技)を披露。伝統を誇る町を拠点にしている涌谷1団は40年以上の歴史あるボーイ隊スタンツ「ベンと弾きやヒュウ」を披露し喝采を得ました。楽しい交流の後保護者心づくしのトン汁を味わい大勢のスカウト仲間との交流を深め楽しい1日を過ごしました。

ボーイスカウト石巻地区 初 スーパーカブ誕生!!

石巻第6団事務局 菅野 五郎

ボーイスカウト石巻6団カブスカウト隊(隊長武山直治)で、住吉小学校5年生 林 雪乃さんが、石巻地区創立40周年目にし

て初めてチャレンジ章40個を完修し、スーパーカブスカウトが誕生しました。林さんは、小学校3年生9月カブスカウトに入隊しチャレンジ章である 市民・友情・動物愛護・自然保護・手伝い等 1.生活 2.自然と野外活動 3.技術 4.スポーツ 5.文化と趣味など5分野の各項目に挑戦しました。武山隊長の適切な指導やお母さんの細かな支援により8月末までに40個のチャレンジ章を完修しました。

林 雪乃さんは「私はスーパーカブになれてうれしかったことは、隊長にチーフリングをもらったことです。なぜ私がスーパーカブになれたかと言うと、お母さんが協力してくれたからです。私はあと2つというところであきらめそうになりましたが、お母さんの協力により40個取ることができました。ボーイ隊でもいろいろな事に挑戦したいと思います」と感想を述べ、武山隊長からは「9月からはボーイスカウトに上進するので、今までのように何事にも根気強くチャレンジして勉強とボーイスカウト活動を両立するようにガンバレ～」と今後の活動を期待するエールを送っています。



自転車章挑戦キャンプ

私は、今回の自転車章挑戦キャンプで、初めてのチーフをしました。初めに思っていたよりも準備が大変でした。まず、このキャンプの企画・計画するまで、何度も話し合いをしました。なかなか意見がまとまらず、実施予定日の1ヶ月前にやっとまとまりははじめました。それから、隊長の所にも何度も足を運び企画書・計画書の作成をがんばりました。

実施当日は、皆の集合と行動が早かったのも、すんなり準備も終わり予定より早く出発することができました。始めはスイスイいいていましたが、1時間位たつとみんなのペースが落ちてきました。またしばらくすると慣れてきて、皆が思い思いに走るようになり、そのときに皆をまとめるのは大変でした。しかし、ルートの下見などしっかりと準備をしていたので、スムーズに走行することができ、予定より早く目的地に着くことができました。

宿泊予定地は高清水のキャンプ場でしたが、普段高清水のボーイスカウトの皆さんがきれいに

石巻第6団 ベンチャー隊 伊藤 知博

利用していることもあり信頼して自由に使わせてもらえました。このときは本当にうれしかったです。

翌日、無事100Kmを走破して、かなり疲れましたが参加者全員が無事ゴールできたことが何よりも嬉しかったです。この経験を次のプロジェクトにも活かして行きたいと思います。



籠峯山登山を終えて

私は籠峯山登山が2回目という事もあるって登りやすかったのですが、1回目は小6の時だったので、前より体力がついたのかなあと感じました。

今回通った道は少し陰しくて、道の間に木が倒れていたり、草が生い茂って通りにくい所や前の日に雨が降ったせいか、地面が滑り易くて気をつける所が沢山あり注意しながら登っていましたが、思った以上に大変でした。

皆も最初のうちは楽しくはしゃいでいましたが、どんどん登るにつれて表情が苦しくなっていくのが分かりました。でも苦しくなってもみんな励まし合う事で頂上まで登りきる事が出来たのだと思いました。

頂上に着いた時に皆が笑顔になっていましたし、景色も「頑張ってよかったな」と思わせる位

石巻第2団 上級班長 高橋 沙登美

きれいでした。今回の登山で今まで以上に隊みんなの仲を深めることができました。



楽しかったやくらい山登山

石巻第2団カブスカウト2組 阿部 倉汰

10月12日、やくらい山で登山をしました。一番きつかった所は、七百六だんのかいだんでした。前の日に雨がふっていたので、すべる所もありました。ちょう上についてから、みんなでおにぎりを食べましたが、さむかったので、あつめのジャンパーを着ました。帰りは、べつのルートを歩いて、イガグリを見つけたので、さわってみたらぐん手をしていたかかったです。早く終わったので、荒沢自然館でバイキングをしました。と中、クマのふんや、つめあと、トカゲがいました。

今日一日、色々な体けんや、色々な物を見れてよかったです。



千田理事長 県教育文化功労賞受賞

平成20年10月31日、平成20年宮城県文化の日表彰式が仙台国際センターにおいて挙行され、千田理事長が「多年にわたり少年団体ボーイスカウト運動育成の役員として事業の推進に努め、青少年の健全育成に寄与した」功績により、教育文化功労者として表彰されました。平成17年11月には、石巻市政教育功労賞を受賞。

訃報

平成20年12月4日、元宮城県連盟理事長 郷家智道氏のご逝去されました。郷家氏は、理事長・副理事長・コミッショナーを歴任、スカウト運動（日連・県連）での奉仕活動により、平成9年、叙勲（藍綬褒章）の栄に浴しております。謹んでご冥福をお祈りいたします。

地区行事予告

仙台地区創立40周年記念 平成21年2月22日（日）

B-P祭（仙台市立東六番丁小学校体育館）
記念式典・祝賀会（ホテル・リッチフィールド）

編集後記

- ◎新年を迎え、ちかいを立てた初心に帰り、新世紀のスカウティングに励みましょう。 副委員長 渡辺七郎
- ◎新しき年を迎えて思うのは、この年も気心の合う広報委員達と笑顔でスカウト運動、広報活動が出来る喜びを。この年も語り合ってモ一進。 委員長職務代行 柿沼富雄
- ◎スカウトみやぎ。運動を県下少年指導者多くに向けての記事の要望ありとか。なにしろ、冠宮城県連盟ですから、やはりスカウト宮城ですか。新年にあたり…正月の 子供に成って 見たきかな（一茶）を借句 委員長 堀越祐寿
- ◎「陽はまた昇る」常に前向きに笑顔で日々過ごすこと。スカウト精神忘れず、今年一年スカウトと共に成長したいものです。 砂押名湖
- ◎ボーイスカウトの心、そなえよつねに 榛澤達夫
- ◎今年も、より良いスカウティングを！ 大沼茂雄

より良いスカウティングを
より多くの青少年に

- 発行／日本ボーイスカウト宮城県連盟
- 編集／宮城県連盟広報委員会
委員長 堀越祐寿
副委員長 渡辺七郎
委員長代行 柿沼富雄
委員 榛澤達夫・大沼茂雄
砂押名湖・久光和明

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号
宮城県多賀城分庁舎内

TEL 022-355-6265/FAX 022-325-6267

■印刷／株式会社小野寺印刷所